

## 第10回 球磨川下流域環境デザイン検討委員会 議事要旨

日時：平成29年12月4日（月） 18:00～20:00

場所：八代市役所 仮設庁舎 東棟第21号会議室

### ■議事次第

1. 開会
2. 事務局からの説明
  - (1) 第9回委員会の議事要旨について
3. 議事
  - (1) 萩原堤防のデザイン検討について
4. 今後のスケジュールについて
5. 閉会

### ■議事要旨

#### ①第9回委員会の議事要旨について

委) 特に修正すべき点はない。

#### ②萩原堤防のデザイン検討について

<拠点とネットワークについて>

委) 階段のステップの幅が狭く急なのではないか。濡れても滑らないようにしてほしい。

事) 現状の階段勾配は約1:1で急である。今後整備する階段はまだ設計を行っていないが、現状よりは緩やかに幅も広くする予定である。模型では1:1.5の勾配としている。今後の設計において階段の構造について配慮する。

委) 手すりがあれば1:1.5でも十分であるが、洪水時の影響が心配である。

事) 洪水時の影響も考慮して、必要に応じて手すりの設置を検討する。

委) デザインの工夫で手すりをつけたいことが望ましい。

委) 左岸に対して右岸の法面勾配は急であるが、右岸も左岸のように緩やかにできないか。

委) 踊り場はないのか。直線の場合は転んだときに下まで落ちてしまう。途中で折り返すパターンもあるのではないかと。

委) 直線ではなく、円形状にしても良いのではないかと。

委) 階段の形状は、河川に対して平行、垂直またはその組合せのパターンとなる。堤防の形も考慮しながらその中で最適解を見つけることとなる。階段の配置に関して、階段②を入れると縦動線が過剰になる印象はあるが、「磯はね」を活かすのなら必要だろう。現時点では提案の内容で良いと思うが、今後、空間の検討を行うなかで、微調整を行ってほしい。

委) スロープ②について、現在の工事用スロープは「天神はね」の上にあるため、遺構の存在に配慮した配置としてほしい。

委) 歴史の観点からは、旧萩原橋の箇所想定している階段①の上に緑地があるため、そこに旧萩原橋を説明するサインを設置すれば回遊性の向上にも寄与する。

委) まとめて、階段の形状については、安全性、治水を踏まえて最適解を求めてほしい。階段の位置については、歴史的な観点からの石はねとの関係やサインの設置についても配慮してほしい。

<低水護岸について>

- 委) 低水護岸の階段は、危ないのは確かだが、そのような場所があった方が良くと思う。その際は、安全性を高めるために、高水護岸の階段と中心をずらすとか、石積み階段で歩きづらくするなどにより、積極的に行かせない工夫を行うことも考えられる。また、石積みとすることで周囲の景観にも調和したものとなる。
- 委) 捨石部の幅を変化させることが可能ならば、階段を設置した箇所の捨石幅を広くすることで安全性が向上し、景色も自然になる。
- 委) 捨石部まで降りることができるようになると泳ぐ人が出てきて危険である。
- 事) 今回は試験施工であるため、洪水時の状況や利用実態を確認し、階段部を含めて、必要に応じて安全対策を検討する。
- 委) 前回、低水護岸への階段設置を提案したが、安全性に問題があるのであれば、前回の意見を撤回しても良い。
- 委) 階段はあっても良いと思う。
- 事) 考え方として、河畔林を管理し、水際に近づけることができるようになるため、安全に降りられるように階段の設置を提案している。試験施工であるため、将来的にはどちらの対応もあり得ると考えている。
- 委) これから試験施工を行うため、階段の設置有無について決めなければならないため、参考にみなさんの意見が聞きたい。
- 委) 階段はあっても良い。危ないと言えど何をしても危ない。子供が遊ぶときは、親が見守っていれば問題は無い。
- 委) 階段が水際まで続いていると危険であるが、階段はあってもよい。
- 委) 階段はない方が良く。酔っ払いが降りるかもしれない。リスク管理が必要である。
- 委) 階段はあった方が良く。子供の頃は水辺に近づいて危険性を学んできた。教育をすれば良い。
- 委) 階段が無くても降りられるのであれば、階段はあった方が良く。階段の設置場所は高木の河畔林で日陰ができるところが良い。
- 委) ワンドができれば行ってみたいくなるため、先ほどの意見にあったように、石積みの階段で安全性を高めた方が良く。
- 委) ワンドの深さはどれくらいか。将来埋まってしまうのではないか。
- 事) 設計を行っていないため、具体的な深さは決まっていないが、子供がおぼれないことに配慮して検討する。今回は試験施工であるため、状況を見て土砂の状況や管理のあり方を検討したい。
- 委) 左岸は親水と右岸は水防と機能を分けても良いのではないか。
- 委) ワンドを作るのであれば、階段ではなく、行きたい人だけが行けるような自然な形状の護岸があると良い。
- 委) これくらいの高さであれば階段がなくても降りられる。夜間や自転車のことも考慮すべきである。捨石部に人を下ろすとリスクがある。
- 委) 降りたい子供は階段がなくても降りるだろう。安全が確保できるのであれば、階段はあった方が良く。
- 委) おぼれた人を救助できるような場所を作ってほしい。救うためのロープのようなものでも良い。
- 委) 多様な意見があり、この場で決定できないので、階段の設置については事務所に一任してほしい。

委) 階段の設置については事務所に一任するが、設置する場合は本日の意見に配慮してほしい。ワンドの設置について問題は無いかな。

※意見無し

<河畔林について>

委) 高木の間隔について、このような形になると良いが、本当にできるのか。

事) 現状の高木は、長期間をかけて成長したものである。そのため、整備時は何も無い状態となり、将来的にイメージ図に近づくように管理していくことになる。

<高水敷について>

事) 芝桜の位置について、前回意見では高水護岸の上の緑地部分の提案であったが、管理の際の安全性を考慮して低水護岸の法尻部に設置することとした。

委) 雨が降ると植栽の所まで水が来るのか。

事) 今年はそこまで水が来た実績は無い。

委) 管理時の安全性に配慮したとのことだが、芝桜はあまり管理しなくても良い。対岸からきれいに見えた方が良い。

委) 提案の位置なら、みんなで考えながら安全に何でも植えられるので良いと思う。様子を見てみてはどうか。

委) いろいろな地区が競争しながら育てることできれいになる。

委) 通勤で歩いている水無川はきれいになっているが、手がかかっている。手がかからないことが重要である。

委) 実際に植栽する場合は管理や資金の課題が出てくるので、今後も協議していくことにする。

委) 低水護岸境界部の処理については問題ない。今回、高水敷盛り土部分に勾配をつけてもらっているが、イベントなどでテントを置くときに問題ないかな。

委) 高水敷に降りられるようになるが、花火大会の時にも降りられるのか。

委) 花火大会時の規制については大会運営者の範疇であるが、試験施工区間でイベント時についても確認し、その他の区間の整備方法を検討してほしい。

<利活用について>

委) 今回で、試験施工区間の整備内容について、ある程度かたまってきたため、今後は、萩原敷石のデザインについても検討してほしい。

委) 萩原敷石については、夕日スポットとする場合は安全性に配慮してほしい。整備への希望として、先端にハートの石を埋め込み、プロポーズスポットとするのも良い。将来的にはカヌーや屋形船などが発着できる場所にしてほしい。

委) 熱海の来宮神社のように、記念撮影ができるスマホスタンドの設置も考えられる。

③今後のスケジュールについて

- ・ 本日の意見を踏まえ、試験施工を実施することを了承してほしい。
- ・ 次回の委員会は試験施工区間の利用状況をみながら議論をしていきたい。